

新型コロナウイルスをめぐる最新の動き(6月25日付)

在モンリオール日本国総領事館

●当館管轄州における感染者数等の現状(6月25日(水)15時現在, 各州政府 HP・記者会見から引用)

	陽性*	死亡	現在感染者数**	検査済(陰性)	入院者数
QC	55079 (+142)	5448 (+7)	25845 (+56)	524578(+4351)	487 (-13) (内 ICU 患者: 50 (-21))
(MTL)	27149 (+56)	3342 (+3)	-	-	-
NB	165 (0)	2 (0)	14 (-2)	41690 (+334) ***	2 (0) (内 ICU 患者: 1 (0))
NS	1061 (0)	63 (0)	0 (0)	52266 (+449)	2 (0) (内 ICU 患者: 0 (-1))
PEI	27 (0)	0 (0)	0 (0)	10445(+144)	0(0) (内 ICU 患者: 0 (0))
NL	261 (0)	3 (0)	0 (0)	16901 (+281) ***	0 (0) (内 ICU 患者: 0 (0))

(注: 括弧内は前日比)

*当館管轄州は「確定」「推定」の分類ではなく、「陽性(Positive)」「陰性(Negative)」のみの分類表記。但、ケベック州は確定数。

**「現状の感染者数」は、「累計陽性者数」から「治癒者数」と「死亡者数」を差し引いた数(=Active cases)。

***陽性数も含めた検査数の合計を表示していることに留意。

1 当館からのお知らせ等

◎(5月22日)伊澤総領事からのメッセージ

気候も快適になり、カナダは一年で一番良い季節を迎えつつありますが、皆様如何お過ごしでしょうか。依然として感染拡大が続くモンリオールですが、ケベック州政府は、来週以降、徐々に社会経済活動を再開させて行きます。来週からは通りに面した商店も再開されます。既にここ数日、以前よりも多くの市民が街に出てきているように感じます。自主隔離生活も長期になり、閉塞感のあるこの不便な状況から解放されたい気持ちは理解できますし、街に活気が戻ってくるのも楽しみです。既に感染が落ちついている大西洋州で制限解除が進むのも当然でしょう。その一方、抑制されつつあるとはいえ、依然として毎日数百名の感染者が出ているモンリオールにおいて、この時点で活動制限を緩めていくことが、感染にどのような影響を及ぼしていくのか見極めが必要だと思えます。

今後感染がどのようなようになっていくのか予断は難しいですが、ケベックについて言えば、先般州の研究所が公表した見通しにもある通り、残念ながら感染が早期に収束する見通しは少なさそうです。しかも制限解除によって市民間の接触も格段に増えることとなります。従って、今後しばらくの間、日常生活において、私たちはウイルスとの共生を余儀なくされることになると思います。その期間がどれ程になるのかわかりません。ケベックに住む私たちは、長期戦の覚悟で、ビジネスの仕方やお子様の就学等様々な面で、今後の生活を考えていく必要があります。

総領事館の活動は従来通りですが、まずは、来週以降の制限の段階的解除がどのような状況になるのか集中してフォローしていきます。これまで以上に街に市民が出てきますので、皆様におかれましても、十分な予防措置を講じて頂きたいと思えます。

2 新型コロナウイルスに係る当館管轄州の報道ぶり等

※以下の情報は、報道ベースのものであり、当館が情報自体の正確性について保証するものではありません。

【1 カナダ全般】

(1)トルドー首相が定例記者会見を行ったところ、要旨以下のとおり。

●カナダ学生サービス助成(Canada Student Service Grant)プログラムを発表。中等教育を修了した学生及び最近の卒業生が、今夏コミュニティにおける新型コロナウイルス対応のためのボランティア活動に従事した場合、稼働時間に応じ、1000加ドル～5000加ドルを支給。

●(ケベック州が26日から感染者数等の発表を一週間に1回とする決定を行ったことに関する質問に答え、)今夜ルゴー・ケベック州首相と遠隔で議論する。透明性が必要。数字は未だ高く、データは住民や科学者が検討する際に重要であるため、引き続き毎日発表してもらいたいと思っている。

(2)(25日)OECD諸国の中で、長期高齢者施設で亡くなった人の割合はカナダが最も高い。カナダでは死者のうち長期高齢施設居住者が81%を占め、各国平均の2倍となっている。

Décès en soins de longue durée: le Canada fait piètre figure

<https://www.journaldemontreal.com/2020/06/25/dec-es-en-soins-de-longue-duree-le-canada-fait-pietre-figure-1>

【2 ケベック州】

(1)(25日)アルダ・ケベック州保健局長が、本日からの規制緩和について発表したところ、要旨以下のとおり。

●スパ、バー、観光宿泊施設、カジノ、サービス産業・企業(ただしテレワークが優先されるべき)は再開を許可。

●次の3分野等は引き続き禁止:①フェスティバル、大規模イベント、②子供向け宿泊付き夏のキャンプ、③格闘技

●引き続き2メートルの対人距離確保、バーは座席使用、宿泊施設は台所共用不可。

●感染者数発表は、今後は毎週木曜日のみ。次回は7月2日に発表。

(2)(25日)ケベック州政府は感染者数等に関する毎日の発表を6月26日に終了。以後は一週間に1回とし、毎週木曜の発表となる。次回発表は7月2日の予定。

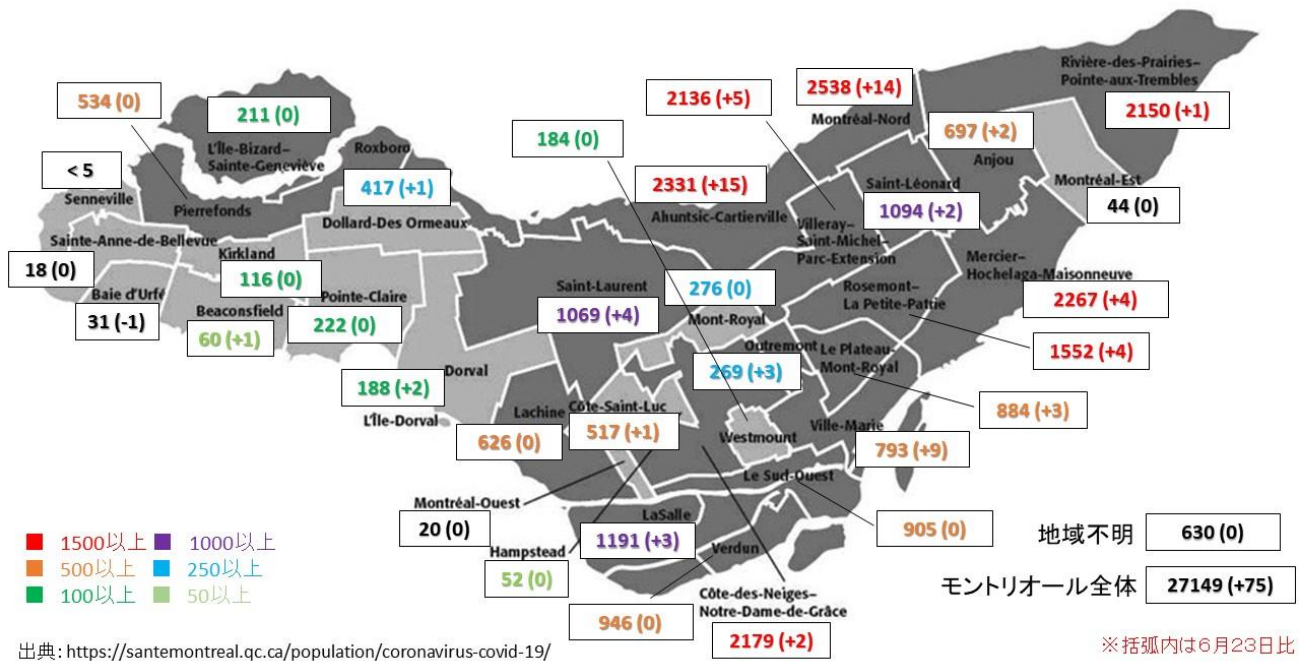
Fin des bilans quotidiens de la COVID-19 au Québec

<https://www.journaldemontreal.com/2020/06/25/fin-des-bilans-quotidiens-de-la-covid-19-au-quebec>

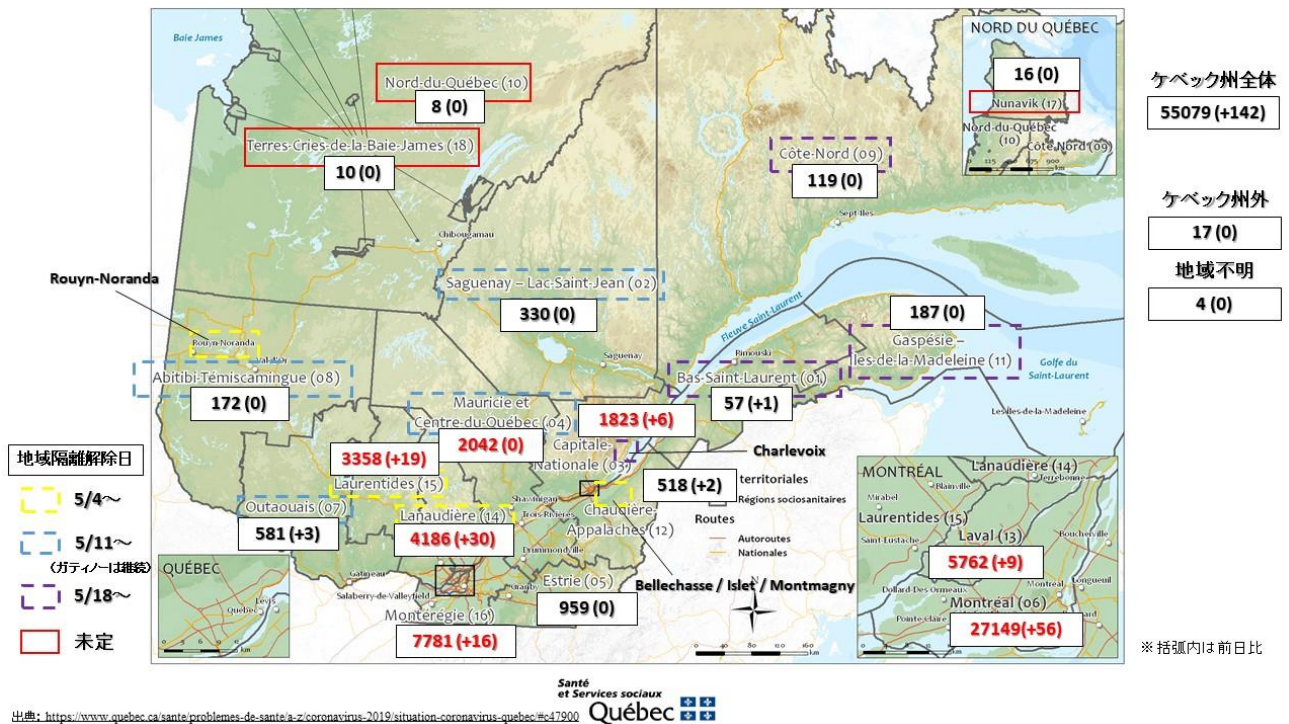
(3)バーも近々再開へ。但し、例えばダンスなどは禁止となる模様。緩和・再開措置の最終段階について本日14:30にアルダ州保健局長が発表する予定。

Les bars pourront rouvrir « très prochainement »

<https://ici.radio-canada.ca/nouvelle/1715032/ouverture-bar-spa-parcs-aquatiques-horacio-arruda-sante-publique>



(参考:6月25日12時現在モントリオール島地区別感染者数)



(参考:6月25日11時現在ケベック州地域別感染者数)

【3 ノバスコシア州】

(24日) [大西洋4州に共通した報道]

大西洋4州(NS, NB, PEI, NL)の首相は、自己隔離なしに自由に行き来できる、Atlantic Bubble 協定に合意し、7月3日から施行となる。

- ・ 大西洋4州の住人の州境を超えた行き来は自己隔離なしに許可される。
- ・ 大西洋4州以外のカナダからのビジターは、引き続き各州の規制に従う。
- ・ 大西洋4州以外のカナダからのビジターは、沿海州(NS, NB, PEI)のどこかの州で、14日間隔離した場合、この3州を自由に行き来できる。

No New Cases of COVID-19, Atlantic Travel Bubble Announced

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200624002>

Revised/ Atlantic Provinces form travel bubble

https://www2.gnb.ca/content/gnb/en/news/news_release.2020.06.0370.html

【4 ニューブランズウィック州、プリンスエドワードアイランド州、ニューファンドランド・ラブラドール州】

ニューブランズウィック州

特になし。

プリンスエドワードアイランド州

特になし。

ニューファンドランド・ラブラドール州

(24日)25日付で、NL州は、警戒レベル2へ移行。

- 50名までの集まりの許可
- ・ 葬式や結婚式の50名までの許可
- ・ 教会での礼拝儀式の再開
- ・ ジム、フィットネスクラブ、ヨガスタジオの再開
- ・ 屋内プールの再開
- バーやラウンジの再開(座席数の調整要)、カラオケやダンスは禁止
- 映画館やエンターテインメント・文化施設の再開(座席数の調整要)

Public Advisory: Newfoundland and Labrador to Enter Alert Level 2

<https://www.gov.nl.ca/releases/2020/health/0624n06/>

(了)